

# 出張報告

報告日 令和6年3月12日

会派名	暮らしと笑顔
報告者氏名	池野里美
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	地方議会セミナー（株式会社 廣瀬行政研究所）受講
日時	R6/3/10(日) 10:00 ~ R6/3/10(日) 12:20
場所 (会場)	オンライン参加
調査項目等	セミナー動画受講
概要	『今こそ再確認！今のこどもの最新事例を現場から学ぶ①～現場から見る家庭教育支援～』動画受講 講師：MIKURU・MIRU 代表 親学びアドバイザー（公認心理師）山下真理子 ※別紙、資料添付。
所感等	<p>少子高齢化社会で、出生率の大幅な増加は見込めないと考えられている今、将来の地域社会の基盤維持を考えると生産年齢人口世帯、特に子育て世帯の流出防止だけでなく、子育て世帯を呼び込むための施策を考えなければなりません。そこで重要になってくるのが、家庭教育支援である。家庭教育とは、親やこれに準ずる人が子どもに対して行う教育のことで、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、豊かな情操、他人に対する思いやりや善悪の判断などの基本的な倫理観、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割を担っているといえます。</p> <p>保護者の様々なニーズに応えるためには、子育て経験者をはじめとする地域人材を中心として、教員OBやSSW（スクールソーシャルワーカー）、民生委員、児童委員などの参画を得て、家庭教育支援チームを作り、情報共有を行い、受け身の支援ではなく、各学校や家庭へ出向く訪問型・プッシュ型の支援がより求められていると学んだ。</p> <p>柏崎市においては、子どもを取り巻く環境の充実を重点戦略として取り組んでいるので、家庭教育支援という視点で政策を見直し、子育て世帯に選ばれるまちとなるよう調査・研究を進め提案できるようしたいと思う。</p>